



オンライン参加者はモニターで写出される講師を見て自宅で運動

TOPIC
10
6
16

会場や自宅で介護予防

介護予防教室「元気はつらつ教室」

自宅などからオンラインでも参加できる介護予防教室「元気はつらつ教室」が、西庶路コミュニティセンターを会場に開かれました。

会場には町民7人が来場。オンラインでは2人が参加しました。この日は、株式会社オカモトの神田紘好さんを講師に、参加者は指の運動や手足を伸ばすなどの運動をしました。五十嵐ツネさん(74)は「教室に参加して気持ちがすっきりしました。自宅からでも参加できるというのは、いいですね」と話していました。

TOPIC
7
6
11

思い出に残る最後の運動会

白糖小学校運動会

白糖小学校としては最後となる「第123回大運動会」が同校グラウンドで開かれました。

児童は紅白対抗で玉入れやリレーで競い合い、応援合戦でも一生懸命に元気いっぱいな姿を見せていました。また、駒踊り音頭では、卒業生や保護者も参加し、一体となって盛り上がっていました。植村鳳稀君(6年)は「陣取り合戦やよさこいソーランなどの競技を通して、協力することの大切さを学びました。思い出に残る運動会になりました」と話していました。



一体となって盛り上がった駒踊り音頭

TOPIC
11
6
17

生徒全員が九合の山まで約15分

白糖高と白糖中「合同避難訓練」

授業中に地震と津波が発生したという想定で白糖高校と白糖中学校の「合同避難訓練」が行われました。

生徒たちは防災無線で大津波警報発令を聞くと、橋北2、3区町内会の住民6人と共に避難場所になっている「九合の山」へ約15分かけて避難しました。

橋北3区町内会の廣橋恒志会長は「大変すばらしい統率がとれた避難訓練でした。こうした訓練を重ねることで、地震に限らず不測の事態が起きたときにも役立つことがあると思います」と話していました。



地域住民と共に九合の山を登る生徒たち

TOPIC
8
6
13

歌とピアノ演奏を楽しむ

ピアノと歌のミニコンサート

今年度、地域おこし協力隊(情操教育)として着任したピアニストの山田陽子さんと声楽家の斉藤弥音さんによるミニコンサートが庶路学園で開かれました。

ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」から同曲と「ドレミのうた」の2曲が披露され、全校生徒が集まった体育館に、ピアノと歌の美しい調べが響きました。生徒会長の小田桐舞佳さん(9年)は「音が耳だけじゃなく体全体に響いて、とても感動しました。また聞きたいと思いました」と話していました。



山田陽子さん(右)と斉藤弥音さん(左)によるコンサート

TOPIC
12
6
18

至高の音楽で来場者を魅了

ピアノと声楽によるコンサート

ピアノと声楽によるコンサート「そよ風のにせて」が社会福祉センターで開かれました。出演したのは菊地江さん(ソプラノ)と佐藤順子さん(メゾソプラノ)、笠原茂子さん(ピアノ)の3人。

笠原さんのピアノ独奏「ノクターン」や、菊地さんの「曼珠沙華」、佐藤さんを交えた二重唱「歌の翼に」などで、約70人の来場者を魅了しました。釧路市から訪れた檜館ヤス子さんは「釧路にいても聞けない二重唱が聞けて良かったです」と感動していました。



(左から)笠原茂子さん、菊地江さん、佐藤順子さん

TOPIC
9
6
13

全道大会での健闘誓う

バドミントン全道大会出場報告会

バドミントンの第23回ダイハツ北海道小学生ABC大会兼全国小学生ABC大会(6月26日、北見市)に出場する白糖小学校の五十嵐悠真君(5年)と田中悠晴君(3年)が役場を訪れ、川島教育長に健闘を誓いました。

五十嵐君は「一試合でも多く勝てるように頑張ります」、田中君は「最後まで諦めずに頑張ります」と全道大会への意気込みを語りました。川島教育長は「自分が苦しいときは相手も苦しいので、苦しくても全力を出しきって頑張ってください」と激励しました。



(左から)釧路地区予選で出場の権利を手にした五十嵐君と田中君